

ごみを減らそう!!



— 京都市ごみ減量推進会議 —

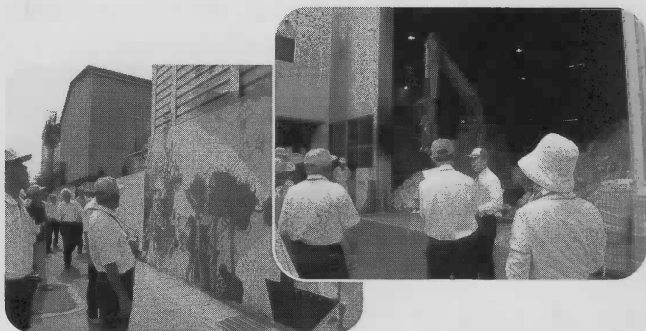
No.37 2008.9

7月30日(水)

見て聞いて・ごみ対策ミニツアー



廃棄物回収・処理業が集中する千両松町(伏見区)にある『千両松エコ協議会』への見学会を開催しました。各社の廃棄物処理の様子を見学したり、企業間で連携をとり事業を進めていること、地域の清掃活動の実施など地域と融和を図っていること等を聞かせていただき、『千両松エコ協議会』の果たす役割について理解を深めました。



8月6日(水)・8月19日(火)

第8回 こどもワークショップ

夏休みイベント・こどもワークショップを今年は新宿高島屋と京都高島屋の2カ所で開催しました。環境漫画家ハイムーン先生のお話を聞き、自分でできるごみ減らしについて考え、それを漫画にして発表するというワークショップです。

子どもたちは斬新なアイデアや、自分が日々実践できることを力作の漫画にし表現してくれました。



京の町家暮らし ~町家の女将たちのエコロジー~

京の町にふり売りの声が聞こえる頃、加茂のおばさんが路地もんの苺やトマト、胡瓜と共に葉付大根や莢豆さややらも一緒に車に積んで売りに来ます。

町家暮らしを続ける吉井幸子さんはおだい(大根のこと)を今日の献立にと購入します。「おだいは白いとこより青々と立派な葉のほうを食べた方がいいです。葉飯や葉と茎のお漬けもんにしたり、皮の部分もきんぴらにして使います。皮と身の間に栄養があるんやさかい皮の部分捨てるなんて考えられません。

そして白い先のしっぽのような辛いところはおろしてチューブ入りの山葵とあわせて色付けしたら、ほんまの山葵おろしができる。これがまたおいしい。

今時の人は葉っぱの部分は捨てたりしはるけど、実は大根一本捨てることなし。鯛の煮物だって切り身より「アラ」の方がほんまは美味しい。残った煮汁の煮ごりも捨てるのは、これで炊いた屑野菜入りのおからは常備菜じょうびさいとして重宝。常備菜といえは上等のお茶殻はほかさんと冷蔵庫で貯めて、ちりめんじゃこと一緒に煎り煮したらカテキン豊富な佃煮一丁上がりです。」

こんな暮らしを続ける吉井さんの夕食の1週間の生ゴミの量は590グラムというデータもある。(NHK調べ)

今回は吉井幸子さんをはじめ、藤田良子さん、吉竹喜美さんとお話しをさせていただきました。実はこの方々、「京の町家・暮らしの意匠会議」という歴史のある集まり。町家暮らしには衣食住にまつわる知恵がいっぱい詰まっていて、それを機会あるごとに楽しく、無理なく伝えていこうという貴重なグループなのです。他にも十数名のメンバーがおられて、東京のメディア連中が京の暮らしの取材にあたっては必ず頼りにして訪れるというちょっと粋な人たちなのです。皆さんは言葉を続けます。

「京の暮らしの始末は本当は暮らしの豊かさの表現。御馳走はハレの日にとっておくのです。たとえばお一日と十五日は小豆御飯とおなます。際の日はおからの炊いたんやあらめの炊いたんとお決まり。モノに囲まれ物心共に忙しく無駄の多い、ゴミに埋もれる生活を一度見直してみても如何でしょうか。私達のような「けちでずぼらな料理」にも明日のエコロジーのヒントが透けて見える気がするのです。」と。

【取材後記】

この方々とお話しをさせていただく度に感心することばかり。一度、暮らしの意匠会議の皆さまと「けちでずぼらな料理」の試食会でも子どもたちを交えてやってみたくなりました。取材 大橋正明

平成20年度 公募型パートナーシップ採択事業のご紹介

京都市ごみ減量推進会議では、市民の皆様によるごみ減量・リサイクルに関する企画・取組等を支援するため有料指定袋収入を活用し「市民公募型パートナーシップ事業」を実施しています。本年は下記の事業が採択されましたので、ご紹介いたします。(順不同)

【事業名：資源・エネルギー環境学習プログラム開発、実施】

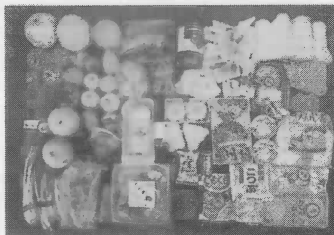
◆団体名：幼児のための環境学習プログラム作成の会
当事業は、幼児～小学校低学年を対象にした体験重視型の資源・エネルギー環境学習プログラムを開発し、該当施設に紹介、実施することを目的に企画しました。今年度のテーマは▼ごみ分別▼食育～食材▼自然エネルギーです。これからの脱温暖化社会を支えていく子どもたちには、できるだけ早い時期から「電気や水道、物を大切に使う」ことが習慣として身につくように、挨拶や、礼儀作法などのしつけと同じように繰り返し学習させてあげたいと思います。



ペットボトル風車の作成

【事業名：君はごみを知っているか写真集作成事業】

◆団体名：もったいないを伝えるごみ図鑑編集委員会
当委員会の代表が、昭和55年からほぼ30年近く撮り続けてきた、約8,000枚の京都市を中心とした家庭ごみの写真を編集し、この30年間のごみの変化とともに、手付かずの食料品のようにごみから見た生活の無駄、紙おむつ、使い捨てライター・カイロ等使い捨て商品が浸透してきた姿などを、写真を通じて皆さんにお伝えしていきたいと思っています。



手付かずの食品

【事業名：3R検定実施記念京都デザインエコトートバックコンテスト】

◆団体名：特定非営利活動法人 資源循環型社会推進機構
「あなたのデザインがレジ袋をへらす！」小学生から大人まで、幅広い層からエコバッグのプリント柄デザインを公募。他では手に入らない京都オリジナルのユニークなエコバッグでレジ袋使用の抑制に一役買います。さらに今回は来年1月に実施される第一回目の「3R検定」のPRのために「3R」をテーマにデザインを大募集！コンテストへの参加やバックになった作品の利用を通じて、まだまだ馴染みの薄い「3R」の普及啓発を応援します。もちろんフリーテーマでの応募もお待ちしています！

【事業名：過剰梱包抑制事業】

◆団体名：特定非営利活動法人 環境安全センター
インターネットの普及に伴い通信販売が増えています。しかし、過剰梱包が気になりませんか？過剰梱包は、資源の無駄であり、輸送時の環境負荷にもつながります。ただ、何をもって過剰梱包というのか、その定義は人それぞれ違いがあるようです。当事業では、ホームページで過剰梱包の情報収集、「過剰梱包」と「良い梱包」のランク付けを行います。また、アンケートを実施し、消費者が過剰梱包だと判断している判断基準を分析します。それらをとりまとめ、ホームページに公開することで、過剰梱包の抑制を図ります。

【事業名：市民ボランティアの育成による環境対策の促進】

◆団体名：特定非営利活動法人 地域環境デザイン研究所 ecotone
イベント・お祭りでの環境対策活動を担うボランティアスタッフを育成する為、事前研修を実施し、揃いのユニフォームを用意します。また、来場者にはボランティアスタッフが分別回収を指導するとともに、わかりやすい分別サインのあるごみ箱を設置することで、自分自身の手で分別し、分別回収について理解を深めてもらえるようにします。



ごみの分別指導

【事業名：事業系一般廃棄物の多分別収集事業】

◆団体名：特定非営利活動法人 木野環境
近年、家庭からのごみは、自治体によっては、数十種類の分別が定められており、減量に一定の成果を上げています。また、産業廃棄物においては、分別が処理費用抑制に繋がること、環境意識の向上から、細かな分別がされています。しかし、事業所や工場の事務所から出るごみや、テナントを含むオフィスから出る一般廃棄物においては分別が進んでいないのが現状です。当事業では、事業系一般廃棄物の分別について分別調査実験を行い、事業系一般廃棄物の減量方法を検証します。

【事業名：祭におけるごみ削減目的のための活動と分別回収。山鉾町内・ボランティア協働による「美しい空間づくり」「狭小地域における危険性」の調査ならび活動】

団体名：美しい祇園祭をつくる会
平成16年、余りにもひどい祇園祭のごみを削減しようと、山鉾連合会にごみの分別回収を提案し、ごみの組成調査、自主回収作業等を行ったのが活動の始まりです。年々ボランティアの数は増え、今年は要望のあった5鉾町内での散乱ごみの回収を行うことができ、ごみの無い美しい鉾町空間を創ることができました。更に来年度の祇園祭におけるごみ減量活動に向け、鉾町、関係事業体、ボランティア、行政、企業、団体に参加、資金協力を求め、事業を進めていきたいと思ひます。

【事業名：私たちの小さな町から地球環境を考えよう！】

◆団体名：梅逕安心安全ネットワークごみ減量推進会議
下京区最小の梅逕学区。しかしながら町の安心安全、とりわけ環境についての問題意識は高い。この小さな町から小学校校区、中学校校区へ「子ども達によりよい地球環境を！」という啓発活動範囲を京都市全域へと徐々に拡大し、reduce, reuse, recycleを地域で心掛け、エコクッキングや生ごみからの堆肥作り等、子ども達への環境教育も含め、小さな力の積み重ねの重要性を実感・体感し、発信していきたいと思ひます。

シリーズ 会員探訪

市民団体、事業所、各種事業者団体、専門家など、多彩な顔ぶりで構成される京都市ごみ減量推進会議。今回は、京都商工会議所の活動を取材しました。

京都商工会議所

所在地：〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル
TEL: 075-212-6443 / FAX: 075-255-0428
HP: <http://www.kyo.or.jp/kyoto/index.shtml>
会頭：立石 義雄
設立：明治15年(1882年)10月
事業所：本部1 センター1 支部3
会員数：11,131会員(平成20年5月27日現在)
事業概要：産業振興や中小企業に対する支援、人材育成に関する事業の他、21世紀を志向したプロジェクトの推進や国際的な事業活動を促進しています。

京都商工会議所

Q 京都商工会議所(以下、商工会議所)では日頃どのような事業に取り組んでいらっしゃいますか?

A 地域の総合経済団体として、業種を問わず、地域の経済と街の活性化をサポートしています。

Q 商工会議所が目指す環境対策について教えてください。

A 京都商工会議所環境対策特別委員会では‘ニュー京商ビジョン’の下、4つの柱～脱温暖化対策、循環型社会の推進、まちの美化、普及啓発・人材育成～を掲げて環境対策に取り組んでいます。脱温暖化対策では、事業所におけるCO₂の排出量削減を呼び掛けたり、事業者向け環境家計簿の導入を進めています。また、人材育成については、平成14年度から議員企業の協力を得て、小学校への環境授業にも力を入れています。当初は参加企業5社からスタートしましたが、現在は21社と充実し、本年度の訪問予定校は55校を数えます。



企業向け実践講座「見て聞いて・ごみ対策ミニツアー」の様子(大阪湾フェニックスセンターにて、平成19年7月25日)

Q 普及啓発事業にも積極的に取り組んでいらっしゃいますね。

A 毎年6月の環境月間に合わせてシンポジウムを開催しています。また、企業向け実践講座と題して、京エコーセンター・京都市ごみ減量推進会議と協同で、年数回講座を開講しています。毎回、行政や研究機関から専門家をお招きし、企業の実績紹介と併せて情報提供を行っています。その他、会報や、HPでの案内、メルマガの発行などにも取り組んでいます。

Q 今後、京都の産業発展を見据えながら、企業のごみや廃棄物対策を進めるためには?

A 私たちの身近には、リサイクル可能な資源が多く存在します。それらの有価物をリサイクルルートに乗せる際、インセンティブが働く仕組みを如何に構築できるかが、今後の課題ではないでしょうか。都市鉱山の有効活用について、議論が深まることを期待しています。

平成20年度、京都の環境取組の一翼を担う環境対策特別委員会が、京都府環境トッランナー表彰に輝いた。産学公を繋ぐ商工会議所の役割は益々重要になってくる。元氣な京都の創生には、次世代へのアプローチも欠かせない。未来の人材育成にも取り組んでいる京都商工会議所の意気込みに大きく期待したい。

(取材協力：谷口真さん)



取材日：平成20年7月29日 取材：松村香代子

●市役所前フリーマについてのお願い●

“市役所前フリーマ”よい、来場者の皆さまに
お願いです。

毎回、約4,000名の来場があり、ご好評いただいている市役所前フリーマですが、来場者・出店者数の増加に伴い、近年いくつかの問題が起っています。

まず、ごみの問題。フリーマの開催後には、たくさんのごみが排出されます。中には、出店したものの、売れ残ってしまったものをごみとして捨てて行かれるケースがあります。「いらなくなったらいる人へ」がテーマであり、リユース(再使用)を促進し、ごみを減らそうというのがフリーマ開催の狙いです。その趣旨をご理解いただき、出店・ご来場いただくようお願い致します。

また、駐輪、駐車のマナーについても問題になっています。自転車でお越しの方には、臨時駐輪場を設けておりますが、スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただけますようお願いし

ます。尚、バイク・お車でお越しの方はお近くの有料駐車場をご利用頂きます様をお願いします。

マナーを守り、楽しいフリーマを開催できるよう、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

■今後のフリーマ開催予定日(年内)■

10月13日(祝) *雨天時 10月25日(土) 11月9日(日) *雨天時 11月15日(土)

11月23日(祝) *雨天時 11月30日(日) 12月7日(日) *雨天時 12月14日(日)

■お問い合わせ:

〈プラスワンネットワーク〉フリーマーケット情報専用ダイヤル
TEL 075-229-7714 *テーブル案内
その他のお問い合わせ TEL 075-229-7713
〈京都いつでもコール〉開催案内など TEL 075-661-3755

ごみ減 地域活動レポート

【地域パワーでごみ減量を進めます!】

七条第三学区保健協議会ごみ減量推進会議

7月の晴天の中、「使用済み天ぷら油回収」の黄色い旗の下に、たくさんの方が集まって下さった。七条第三学区保健協議会ごみ減量推進会議（以下、七三学区保協ごみ減）の山田会長をはじめ、地域女性会会長の中村さんら10数名だ。学区内8箇所から集められた天ぷら油、およそ50ℓを囲んで話が弾む。

七三学区保協ごみ減の立ち上げは平成11年7月。七条第三学区保健協議会（自治連合会）と地域女性会が共同で、月に一回使用済み天ぷら油や古紙・ダンボール・古着・空き缶のキャップを回収している。

当ごみ減が立ち上がる以前は、地域女性会が中心となって昭和55年から古紙回収を中心に活動を開始。昭和58年には京都水問題連絡会からの声掛けで、使用済み天ぷら油からせっけんを作る取り組みを始めた。平成5年11月からは、女性会でせっけん作りの勉強会を開催するなど、地域ごみ減の立ち上げに向けて活動の下地が出来上がっていった。

ごみ減の運営は保健協議会が中心となって行っている。立ち上げの際、地域の方々からは“天ぷら油を下水に流すことがなくなった”と反響が大きかったそうだ。施設見学会も毎年開いており、見学先の選定や講師の招へい等にも余念がない。昨年は北部クリーンセンターを訪ね、ごみ減量に向けた啓発活動の必要性、行動の重要性を再認識した。

マンションの増加に戸惑いながらも、地域のごみ減量を推進していこうと意気込む七三学区保協ごみ減の皆さん。今後は、回収拠点を2~3箇所増やしたいと考えている。京都市にも地域ごみ減の活動をもっとPRしてほしい、という言葉が印象に残った。

取材日：平成20年7月26日 取材：松村香代子

◆会長：山田 静馬 ◆発足：平成11年7月 ◆学区世帯数：約3,500世帯
◆使用済み天ぷら油の回収：月1回第4土曜日



左から 山田会長、森連合会長、女性会執行部の皆様
(左から6番目が中村会長)

(回収風景)

NEWS

2008年

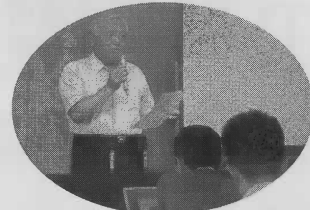
*7月の出来事

- 7月4日(金) 5日(土) エコ商店街
~出町商店街の七夕祭り~
会場：出町商店街
- 7月13日(日) 市役所前フリーマ
- 7月27日(日) 左京区民ふれあいまつり 啓発ブース出展
- 7月30日(水) 企業向け実践講座ミニツアー「第一回千両松
エコ協議会 地域と密着したエココミュニティへの道」



*8月の出来事

- 8月1日(金)
市民公募型パートナーシップ
事業成果報告会 第45回理事会
会場：ウイングス京都
- 8月3日(日) 市役所前フリーマ
- 8月6日(水) こどもワークショップ 会場：新宿高島屋
- 8月19日(火) こどもワークショップ 会場：京都高島屋
- 8月28日(木) 企業向け実践講座ミニツアー
「第二回大日本スクリーン製造の環境保全活動と廃棄物資源化対策」
- 8月29日(金) 地域ごみ減量推進会議全体会議
会場：職員会館がもがわ



*9月の出来事

- 9月14日(日) 市役所前フリーマ *雨天時は9月20日(土)
- 9月21日(日) 醍醐ふれあいプラザ 啓発ブース出展
- 9月26日(金) 常任理事会 会場：ウイングス京都

*10月の予定

- 10月8日(水) 第一回 企業向け実践講座「“3R”で社内をリードできますか？」会場：京エコロジーセンター
- 10月13日(祝) 市役所前フリーマ *雨天時は10月25日(土)
- 10月18日(土) 上京区民ふれあいまつり 啓発ブース出展
- 10月19日(日) 深草ふれあいプラザ 啓発ブース出展
- 10月24日(金) 第二回 企業向け実践講座「製品を通じてのCSR~LCA、カーボンフットプリントを中心に(仮)」
会場：京都商工会議所
- 10月25日(土) 京都やんちゃフェスタ 啓発ブース出展
- 10月26日(日) 中京区民ふれあいまつり 啓発ブース出展

*11月の予定

- 11月2日(日) 右京区民ふれあいフェスティバル 啓発ブース出展
- 11月9日(日) 南区民ふれあいまつり
・下京区民ふれ愛ひろば 啓発ブース出展
市役所前フリーマ*雨天時は11月15日(土)
- 11月15日(土) 西京区民ふれあいまつり 啓発ブース出展
- 11月21日(金) マイバック持参キャンペーン
会場：カナート洛北
- 11月23日(日) ふれあい“やましな”区民まつり・伏見西部ふれあいプラザ 啓発ブース出展
- 11月26日(水) 第三回 企業向け実践講座「近未来を映すゼロエミッションハウス~省エネルギー、新エネルギーの最先端~(仮)」会場：京都商工会議所

京都市ごみ減量推進会議会報誌 ごみを減らそう! No.37

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター活動支援室内
TEL : 075-647-3444 / FAX : 075-641-2971
E-mail : gomigen@mbox.kyoto-inet.or.jp
URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gomigen/index.html>

🔍 ゴミゲン・ネット

🔍 検索 🔍 で検索出来ます

【入会のご案内】

京都市ごみ減量推進会議は、京都市のごみを減らし、環境を大切にしたいと暮らしの実現に寄与することを目的として、市民団体、事業者、行政により1996年11月に設立した団体です。パートナーシップで多彩な活動を展開中。京都市ごみ減量推進会議では、ともに活動をする会員を募っています。

詳細は、事務局へ問い合わせください。TEL:075-647-3444

企画編集：京都市ごみ減量推進会議 普及啓発実行委員会
(会報誌・ホームページ小委員会)